

ときわっこ通信

NO.5

発行日：2020年12月17日

発行者：大町市立大町南小学校 PTA

大町南小コミュニティスクール

大町市常盤 3543-1 0261-22-0521



小玉転がし

大町南小運動会

コロナに負けず頑張った運動会！

9月19日土曜日、感染対策や天気も心配されましたが、南小運動会が無事に開催されました。

玉入れ

1年生



2年生

ダンス



『運動会という成長の場』

石田 竜馬 先生

今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年通りにはいかないう運動会となりました。そもそも運動会を開催できるのか、そんな不安も正直ありました。しかしながら、運動会という大きな行事を行うことは、子どもたちにとって大きく成長できる場であると思います。改めて運動会を行うことの意味を考えさせられました。なぜその種目をやるのか、どんな姿を願うのか、ねらいを明確にすることで子どもたちの成長につながったと思います。考えられるコロナ対策をしながら今できることをやることで、子どもたちはのびのびと活動できました。たくさんの応援、ありがとうございました。

6年2組 赤組応援団長 岡本 翔梧

ぼくは応援団長として、赤組を引っ張らなくてははいけません。最初は声も出ず、言葉も覚えられませんでした。でも、みんながついてきてくれたので、頑張る事ができました。小学校最後の運動会をくいなく、いい思い出になりました。

応援合戦



6年1組 白組応援団長 坪田 紫衿

私がかんばったことは、お腹から声を出すことです。最初のうちは周りの子などにちゃんと聞こえているか聞いても「あまり声が聞こえない」などでした。なので私は、自主学习で毎日練習して声を出せるように、がんばりました。



ソーラン節

3・4年生

力を合わせて！

5・6年生

集団演技



閉会式



組体操、あせを流してがんばれた

5年2組 中村 悠矢

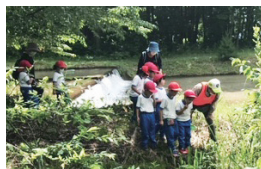
今年は六年生と一緒に組体操をやりました。集団行動がすごく難しかったです。それは、縦だけでなく横の人ともそろえて歩くからです。左足を先に上げてリズムをそろえました。運動会では、みんなと合わせてできたので良かったです。

..... 地域が関わる学びの時間

コロナ禍の学校生活では、感染拡大を防ぎつつ、休校による遅れを取り戻すことが求められています。そんな中大町南小学校では、地域の皆様、PTAの皆様に関わっていただきながら、いろいろな活動することができています。

感謝を込めて、今年度前半の活動からいくつかを紹介させていただきます。

1年 わっぱらんど生活科野外学習



1年生は7月22日にわっぱらんどに行きました。ガイドの皆さんと水辺の生き物を観察したあと、水遊びを楽しみました。

わっぱらんどへいきました。ぼくがたのしかったことは、たきのしゅぎょうがたのしかったです。めちゃうくやつめたかったです。 1くみ かわかみ あゆむ

わっぱらんどにいきました。もりやいけでむしをつかまえたりみたりしました。たのしかったです。 2くみ くりばやし かのん

4年生 社会科見学

4年生は上下水道とゴミ処理施設の見学に行きました。エコパーク・リサイクルパークの見学では、ゴミの処理やリサイクルの様子、上下水道見学では、飲み水がどこから、どのようにして私たちの家まで来ているか、また私たちの使って汚くなった水をどのようにきれいにしているのか、について教わりました。

本年度は、新型コロナウイルスの影響で、見学を通常通り行えるか不安な状況でしたが、施設職員の方をはじめ、多くの方々の協力で、わたしたちのくらしに密接な事柄を目で見て体感することができました。



エコパークにて



常盤中区配水池にて

遠足を通して学び成長した2年生

例年通りに行事ができない中で、2年生は春に観音寺への徒歩遠足、秋にちひろ美術館への電車遠足を行うことができました。友達と支え合って上った鐘撞き堂。ちひろ



仏崎観音寺にて

の絵画に心をよせ、熱心に学んだちひろ美術館等々。どちらの遠足も子どもたちは、「全身で感じる」「みんなと」「み



安曇野ちひろ美術館にて

んなの場所」の合言葉を意識して行動し、多くのことを学ぶことができました。昼食や遊びでは、学年の仲の良い姿が光っていました。

5年生 みんなでお米を作ろう！



荒代

一学期は臨時休校がありましたが、今年も、5年生はお米作りを行うことができました。苗作り、水の管理等、地域の方に大変お世話になりました。分散登校日に行った荒代では、久しぶりに会った友達と裸足で田んぼの中に入り、泥の感触を楽しみました。田植えでは、須沼の竹内さんに教わりながら、「おいしいお米がとれるように！」と思いを込めて植えました。



田植え

距離をとって読み聞かせ …ちいさいおうちの会…



コロナ休校が明けて、ちいさいおうちの会の皆さんによる朝の読み聞かせも再開しました。いつもは、読み手の前に全員が肩寄せ合って集まるのですが、しばらくは、自分の席でお話を聞きます。立ったまま絵本を高く掲げての読み聞かせです。ちいさいおうちの会の皆さんいつもご配慮いただき、ありがとうございます。

クラブ活動 紹介

今年度大町南小学校では、子ども達の希望を聞きながら運動系が5つ、文化系が5つで11のクラブの発足ができ活動をしています。そのうち2つのクラブは、外部講師を招いてご指導していただいています。今回は、その中から、茶道クラブの紹介をさせていただきます。茶道クラブは、今年は7名で活動。毎回表千家の横山愛子先生に来ていただき、茶室への入り方から始まってお菓子やお茶のいただき方、お茶のたて方など丁寧に教えていただいています。

特に難しい袱紗のたたみ方や道具のふき方は、何度も練習をし、みんな上達してきています。ありがたいことに茶道道具一式が一人一セット学校に用意されています。お陰でみんな腕をあげました。

新型コロナウイルス感染症への対策をしながら、今年も楽しい活動となりました。



10月24日に令和2年度PTAバザーが開催されました。

コロナ禍のもと開催が危ぶまれたバザーでしたが、検討を重ね「地元企業様のご協力品を中心に、福袋の形で購入していただく」ということになりました。異例の事態にもかかわらず、地元企業様には例年と変わらないご協力をい

ただき、大変ありがたかったです。

音楽会の日程に合わせて鑑賞後に購入していただくという方法での販売になりましたが、多くのご家庭にご協力いただき、収益は26万円ほどになりました。この収益は子どもたちの教育活動への補助として使わせていただく予定です。皆さまのご協力に感謝いたします。



南小バザー

◆ 第2回 学校運営協議会 ◆

9月9日第2回学校運営協議会が開催されました。1学期に行われたアンケート（児童・保護者）の結果と今後の改善策について協議したところ、「コロナ禍の中にもかかわらず、児童からも保護者からも肯定的な回答が多くてとても安心した」との声がありました。また、文科省CS（コミュニティ・スクール）マイスターで、美麻小中学校地域学校協働コーディネーターの前川浩一さんを講師に研修会を行いました。

- 従来の「支援」という考えから「協働」へ
- それぞれの学校や地域にとっての「課題」は「チャンス」
- コミュニケーションを大事にし、互いに熟議を重ねることが重要
- 地域オリジナルのコミュニティ・スクールを構築していくと良い

美麻小中学校での長年にわたる実践をもとに具体例をたくさん紹介いただき、迫力満点の講演でした。



コロナ禍の影響などともせず、今、常盤地区全体に「南小をさらに良い学校していこう」という気風を感じています。

私どもは、常盤の皆様にご協力いただいているおかげで、勇気をもって「今できる最善」を尽くし、ここまで学校運営を進めていくことができました。大変な毎日ではありますが、これからも、南小の子どもたちを真ん中に据えて、「主体的に学び」「明日も登校したい」と思える学校づくりに邁進していきたいと思ひます。

今後ともお力添えの程よろしくお願いいたします。

大町南小学校 校長 山崎 晃



児童会紹介



児童会前期役員

児童会担当 檀原 美咲 先生 栗林 聡 先生
今年の児童会は前期・後期に分けて全員で委員長・副委員長・書記を分担することにしました。この活動で全員が責任感を持って取り組む力をつけたいと願いました。また、委員会ごとのチームで助け合い協力する力も大切にしたいと考えました。

児童会長 荒井 颯也

ぼくら6年生で作る児童会は、さまざまなことをしています。その中でも交流は、特に力を入れています。スローガンの中にも入っていて、交流を通して、仲よくなってほしいということで行なっているの、みんな仲よくなれば良いと思います。



児童会後期役員

大町南小 気になる先生



ユニバーサルデザイン加配

清水 智 先生

ユニバーサルデザイン（以下UD）加配の清水です。H31年度まで東京都小学校教諭として、日野市・小笠原村で勤務しておりました。専門は理科教育や総合的な学習の時間です。教科・領域だけではなく、学級経営・学校経営に携わる小学校勤務の中で、UD視点を取り入れた授業づくり・学校づくりをしてきました。

UD加配とは本校の大槻教諭（長野県教育委員会の事業「信州型UD推進事業リーダー」）が校内外で活躍できるよう、大槻教諭の業務内容（UD型授業・学級づくり、校内研修、効果的な個に応じた指導の研究など）を支えています。



「授業のUD」とは特別支援教育ではありません。インクルーシブ教育が一般化する中で、**学級にいる全ての子が授業内外で成長できることを目指すもの**です。2月には大槻UDリーダーより実践報告会が県レベルで行われます。ご覧になっていただき、本校の授業UDに関心をもっていただければ幸いです。

保健の先生



吉澤 由子 先生

コロナ禍の児童の心と身体

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言がだされ、今までと違うスタートをきった令和二年度、児童の皆さんは、家庭で静かに過ごす日が続きました。

普段の学校のように、大勢の人との言葉のふれあいや、メリハリのある生活リズムの取りにくい日々が続きました。ようやく学校が再開されても、感染症対策のためのマスクの着用、3密を意識しての生活、楽しみにしていた行事の制限など、新しい生活に慣れるのには大変だったと思います。

2学期に入り、ようやく学校のリズムに身体が馴染んできたものの、保健室に来室する体調を崩しやすいお子さんの多くは、朝食の欠食や偏食、睡眠が十分でない傾向を感じました。授業中に姿勢の崩れやすいお子さんは運動不足による腹筋や背筋の力の弱さも感じられます。これも、コロナの影響によるものかもしれません。

規則正しい食生活。偏食のないバランスの良い食事。昼夜のリズムある生活。質の良い睡眠。適度な運動の継続。一日1回は笑う心の安定。手洗いや身体の清潔保持。こうしたあたり前の積み重ねが、コロナに負けないための基本の習慣だと思われます。



音楽会 & バザー



福袋の中身一例

PTA会長 荒井 俊光

初めての“福袋”バザーにご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。おかげさまでコロナ禍にあっても、必要十分な収益を得ることができました。

今年度はバザーを中止した学校も多い中、本部・厚生部で話し合い、子どもたちのより良い教育環境整備のため、また、毎年ご協力いただいている事業所の皆様とのつながりを大切にしたいとの思いから、実施を決定しました。

実施にあたり、音楽会との同日開催で3密を避ける方法を検討する中で、“福袋”という素晴らしいアイデアが生まれました。本部・厚生部の皆さん、大成功でしたね！お疲れ様でした！

